

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	新型コロナウイルス感染症の流行予測と対策	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応した救急看護実践ガイド	COVID-19患者を在宅で管理する患者と介護者向けのガイド
主に該当する病期	病期を問わず	急性期	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学大学院ヒトゲノム多様性研究室 大橋順准教授が、新型コロナウイルス感染症の流行予測について試算を発表されている ・ 行動自粛を解除すると、30日間で感染者が急増する可能性などが指摘されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人日本救急看護学会作成 ・ 内容は、救急外来受け入れ準備、医療者の感染防御、救急患者の受け入れとトリアージ、救急処置と診療介助、家族への対応、救急看護師のメンタルヘルスである 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会による、米国モンテフィオーレ医療センターリハビリテーション科の医師が作成したものを和訳したもの ・ 項目：COVID-19とは？、患者のモニタリング、隔離の方法、感情的及び精神的健康、患者の体液に暴露したときの注意事項、マスクの着用方法、食事、運動
最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2波について、考える際の視点として役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け入れ前の準備や感染者の評価項目、接触した際の対応方法、家族及びスタッフへのケア方法などが具体的に記されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽症感染者が在宅にいる際の関わり方や感染対策、身体状況に応じた運動プログラムの紹介がされている
リソースのリンク	http://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/content/files/covid/COVID-19_continuity_strategy.pdf	http://jaen.umin.ac.jp/pdf/guide_Emergencynursing_COVID-19_v1.0.pdf	https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/COVID-home-instructions-2-3-Japanese-revised.pdf
QRコード			
公開日	4月20日	4月23日	5月9日

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド	新型コロナウイルス感染に関するメンタルヘルスの情報～看護職に起こりやすいストレス反応や対応Ver.1～	新型コロナウイルス感染症流行期における発熱・呼吸症状などを主訴とする患者の緊急度・重症度判定基準（Version 1）について
主に該当する病期	病期を問わず	急性期	急性期
概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本渡航医学会、公益社団法人日本産業衛生学会による職域での新型コロナウイルス感染症対策担当者を対象に作成されたガイド 主な項目は、職域における対策、感染リスクが高い環境における対策、緊急事態宣言と事業継続、事業者の法的対策のポイントである 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本専門看護師協議会作成 項目は、新型コロナウイルス感染症への差別や偏見、新型コロナウイルス感染症患者の対応に関連したメンタルサポート、新型コロナウイルス感染症への不安や危機管理意識に関する病棟スタッフと管理者のずれ、新型コロナウイルス感染症に対応する病院や病棟に勤務することに関連した不安、疲弊、妊娠しながら働くことへの不安、報道に関連した二次的ストレス 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本臨床救急医学会、一般社団法人日本救急医学会の提言 個々の患者の病状を類型化して、一般医療機関、帰国者・接触者外来、保健所、宿泊施設等における一般医師、看護師、保健師等による緊急度・重症度の把握と入院・療養先の選定などの対応の標準化を図る目的で作成された基準
最も注目するポイント＝理学療法にどのような役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 管理・運営：「発熱や風邪症状を認める者の職場復帰の目安」、「感染した従業員の職場復帰の目安」などが具体的に記載され、職場の感染防止対策、管理・運営に活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 不安やストレスとなる内容と、それに対する対応方法が記されている 	<ul style="list-style-type: none"> トリアージ：発熱、咳、呼吸困難などの症状別に重症度が定義され、重症度を基準とした緊急度の判定フローが提示されている
リソースのリンク	https://plaza.umin.ac.jp/jstah/pdf/corona01.pdf?fbclid=IwAR38pii53D3z4U35cpIkf8qVXBmXBoUppdEL2LhPV7ZX7thCn9caplH43Dc	http://jpncons.org/doc/covid01_01.pdf	https://www.jaam.jp/info/2020/files/info-2020520_1.pdf
QRコード			
公開日	5月11日	5月11日	5月12日

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	新型コロナウイルス感染症拡大時における我が国の集中治療の現状と課題～横断的ICU情報探索システム（CRISIS）の有用性と展望～	SARS-CoV-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン	糖尿病のある人の新型コロナウイルス感染症への対応
主に該当する病期	急性期	病期を問わず	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> 日本医師会COVID-19有識者会議による提言、横断的ICUにおける情報探索システム（以下CRISIS）のデータを通して見えてきたCOVID-19に対する我が国の集中治療の現状と課題、社会経済活動再開などのコントロールツールとしてのCRISISの運用の可能性について論じられている 主な項目：欧米の集中治療体制と医療崩壊、我が国の集中治療の現状とCOVID-19対策上の問題点、CRISISのデータから見る集中治療の逼迫度と、予測ツールとしてのCRISISの運用の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部より、COVID-19の診断のために使用する抗原迅速キットのガイドラインが作成された キットの特徴や用途、検体の採取方法、結果の解釈についてまとめられている 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本糖尿病、生活習慣病ヒューマンデータ学会による、糖尿病に対する新型コロナウイルスの影響と対応についてQ&A方式でまとめられたもの 罹患率、重症化率、予防方法についてデータをもとに記されている
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大防止について、ハイケアユニット等への看護師、医師のマンパワーの確保、感染拡大時の対応（不急の手術を延期する、通常診療の縮小、人員の再配置、医療経営面の問題）について言及しており、行政からの協力金とのセットで強力な要請を行うなどの措置を検討する 状況を把握する上で、CRISISデータはとて有用であり、そのデータを参考にすべきである 	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19の診断方法の動向について知ること、院内の感染対策・初期対応に役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の有無による罹患率には差はないが、重症化および血糖値による差はあるためコントロールが重要である
リソースのリンク	https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/topic/1121	https://www.mhlw.go.jp/content/000630270.pdf	http://human-data.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/COVID19_24.pdf
QRコード			
公開日	5月13日	5月13日	5月14日

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	新型コロナウイルス感染症に対する集中治療における臨床工学技士業務実態調査結果	COVID-19（新型コロナウイルス感染症）感染対策/作業療法業務について（Ver.2）	新型コロナウイルス感染パンデミック時における治療薬開発についての緊急提言
主に該当する病期	急性期	病期を問わず	急性期
概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本集中治療医学会集中治療CE検討会の提言 集中治療専門医研修施設に勤務している臨床工学技士および集中治療を行っている臨床工学技士を対象として業務実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本作業療法士協会から、相談の目安、集団に対する感染対策、訪問利用者向けパンフレットが追加されている 	<ul style="list-style-type: none"> 日本医師会COVID-19有識者会議声明であり、有効性が科学的に証明されていない既存薬はあくまで候補薬に過ぎないことを改めて強調している エビデンスが十分でない候補薬、特に既存薬については拙速に特例的な承認を行うことなく、十分な科学的エビデンスが得られるまで、臨床試験や適用外使用の枠組みで安全性に留意した投与を継続すべきと提言している
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 管理・運営：対象、業務内容、業務体制などの状況が把握でき、理学療法業務への応用が可能と考えられる 感染防止対策：感染管理に関する研修受講状況などが把握でき、理学療法への応用が可能と考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 資料作成：「訪問作業療法～利用者向けパンフレットの作成～」にパンフレット作製時の注意することや構成例が具体的に記述され、訪問理学療法や患者さん向け資料の作成に活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 治療：COVID-19に対する治療薬承認の背景を知ることができる。有事においても品質、有効性、および安全性を十分に検証する必要がある
リソースのリンク	https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19_CE_survey_200515.pdf	http://www.jaot.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/COVID-19_OTgyoumu_Ver.2.pdf	https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/wp-content/uploads/2020/05/E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%AB%E3%82%B9%E
QRコード	 <p>https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19_CE_survey_200515.pdf</p>	 <p>http://www.jaot.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/COVID-19_OTgyoumu_Ver.2.pdf</p>	 <p>https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/wp-content/uploads/2020/05/E6%96%B0%E5%9E%8B%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%AB%E3%82%B9%E</p>
公開日	5月15日	5月16日	5月17日

公開タグ	その他の関連情報	その他の関連情報	その他の関連情報
タイトル	COVID-19治療を目的とした幹細胞移植に対する日本再生医療学会の考え方	糖尿病と新型コロナウイルス（COVID-19）感染症	新型コロナウイルスの第2波について
主に該当する病期	病期を問わず	病期を問わず	病期を問わず
概要	<ul style="list-style-type: none"> 日本再生医療学会より、COVID-19治療を目的とした幹細胞移植に対して声明が出された 現時点で、COVID-19治療を目的とした幹細胞移植は当学会は支持しないことを表明している 一部の報道内容について、当学会の見解が示されている 	<ul style="list-style-type: none"> 日本医師会COVID-19有識者会議からCOVID-19感染糖尿病患者の管理と治療についての概説 主な項目：糖尿病と易感染性、糖尿病とCOVID-19感染症の疫学、糖尿病とCOVID-19感染症重症化との関連性について、COVID-19感染糖尿病患者の管理と治療 	<ul style="list-style-type: none"> BBC NEWS日本語版HPで、新型コロナウイルスの第2波について、動画（字幕あり）が掲載されている 新型コロナウイルスの第2波について、考える視点が分かりやすく示されている
最も注目するポイント ＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 情報の取捨選択に関して考える際に役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19感染症の程度が軽症かあるいは無症状で食事が摂れる患者に対しては、従来通り糖尿病治療を継続して行う 重症例では、血糖値が高値となり、異化の亢進や脱水などにより、ケトアシドーシスや高浸透圧高血糖症候群による昏睡のリスクも高まることから、感染管理と補液に加え、インスリンを用いた血糖管理を積極的に行うと症状別に示されている 	<ul style="list-style-type: none"> 第2波について、考える際の視点として役立つ
リソースのリンク	https://www.jsrm.jp/news/news-4968/	https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/topic/1789	https://www.bbc.com/japanese/video-52765895
QRコード	 <p>https://www.jsrm.jp/news/news-4968/</p>	 <p>https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/topic/1789</p>	 <p>https://www.bbc.com/japanese/video-52765895</p>
公開日	5月20日	5月22日	5月22日